

# ●有田川町天文ニュース（12・1月号）

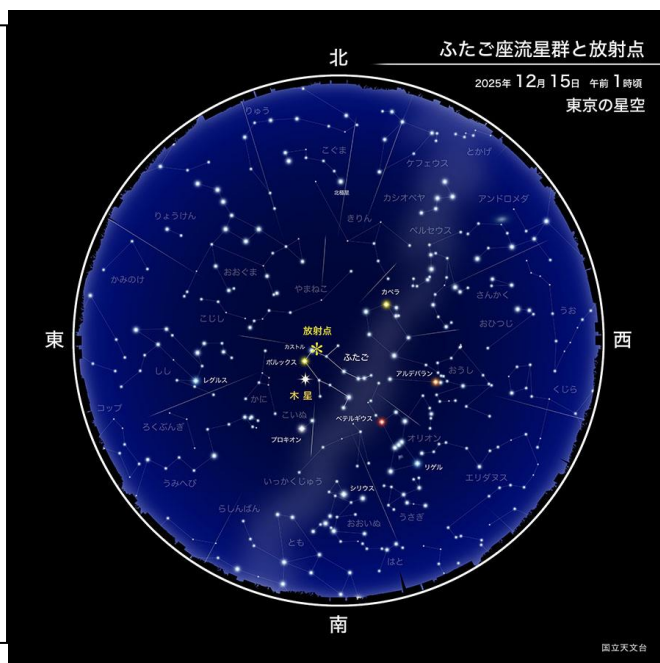
有田川町天文クラブ・有田川町教育委員会

## ふたご座流星群が極大

ふたご座流星群が12月14日午後5時頃に極大を迎えます。15日午前2時頃に月齢24.5の細い月が昇ってきますが月明りの影響が少なく、観測は好条件でできるでしょう。

しぶんぎ座流星群が1月4日午前6時頃極大を迎えます。3日19時03分に満月となった月があり観測の条件は良くありません。

8月のペルセウス座流星群、12月のふたご座流星群、1月のしぶんぎ座流星群をあわせて三大流星群と呼びます。



ふたご座にある木星は、とても明るく輝いており「夜半の明星」と呼ばれています。1月10日は「衝」を迎え、観望好期となり、表面の縞模様が観測しやすくなります。  
衝：惑星が太陽と正反対の位置にある状態

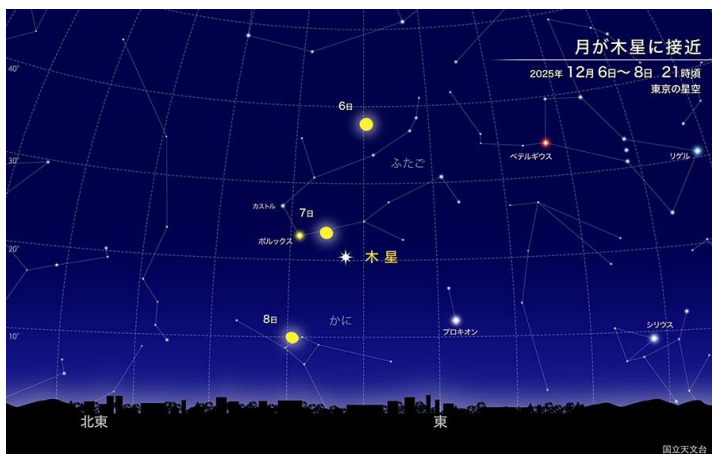


夕方、南から西の空に見えています。

11月24日頃、土星の環がごく細くなり見えなくなりました。1月になっても、環の傾きが1度くらいしかなく、細く見えます。



2025年10月1日



12月7日、午後8時頃、東の空に明るい月と、マイナス2.6等の木星が昇ってきます。月と木星が一番接近するのは、8日のごぜん午前3時26分頃（東京の場合）です。この夜は空が明るくなるまで月と木星が接近した様子を見ることができます。